

富山県の植物





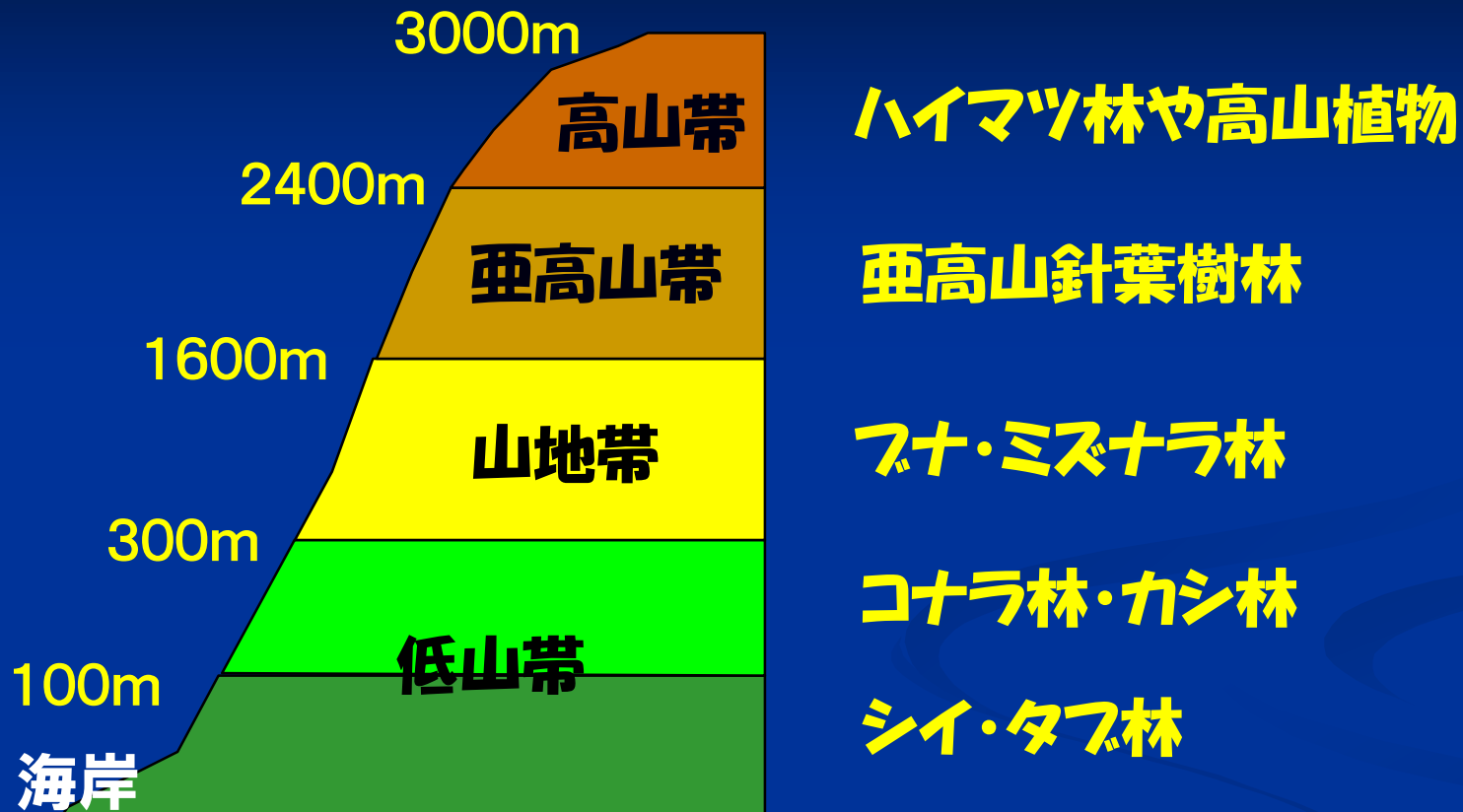
高山帯 2400m~

亜高山帯 1600~2400m

山地帯 300~1600m

低山帯 ~300m

山の高さによる植物の移りかわり



高い山では気温が低くなり、
生育する植物の種類が変わります。

海岸の植物

砂浜 根が長く地下にもぐる



ハマヒルガオ



ハマエンドウ

海岸の植物

岩場 葉がかたく、つやがある



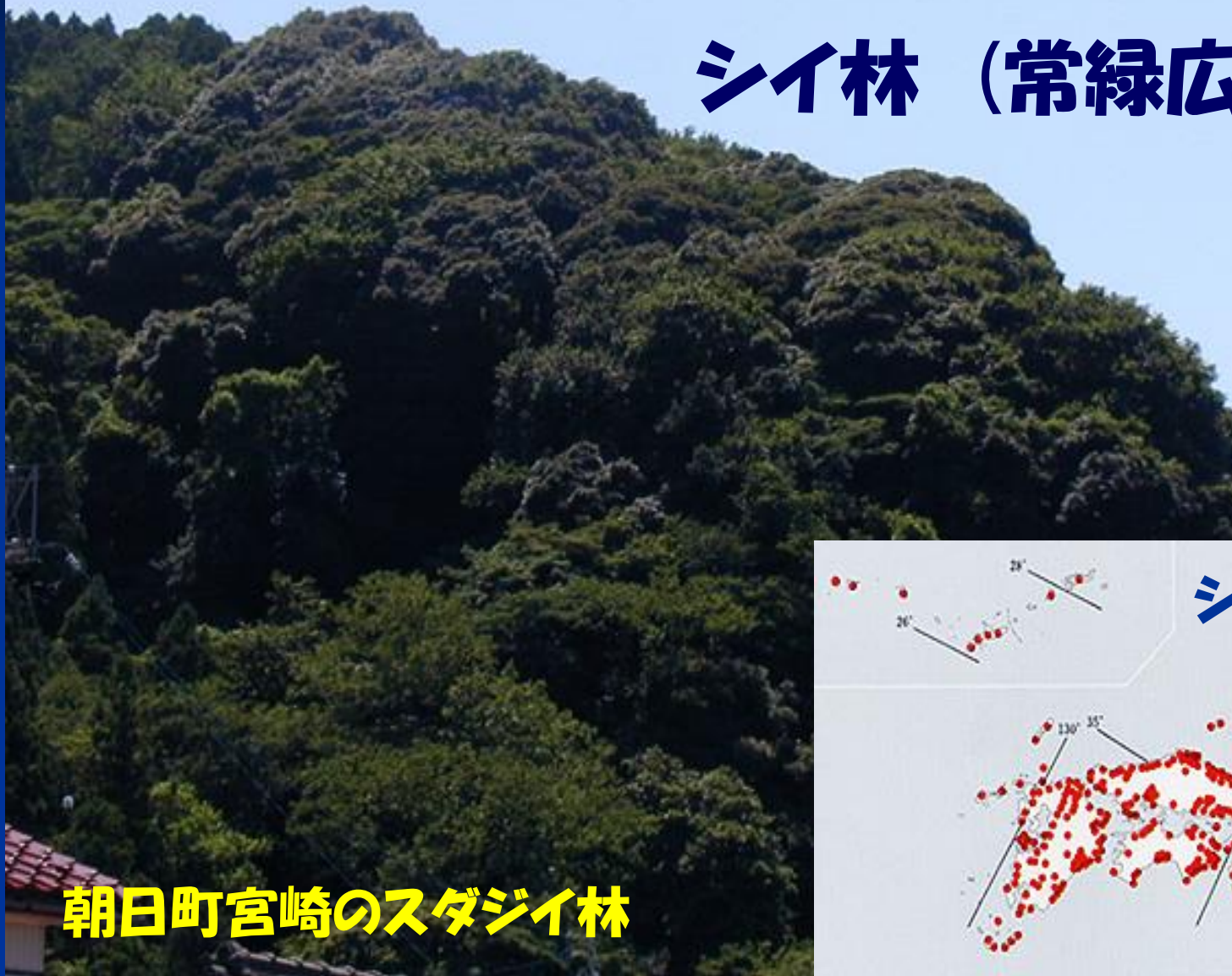
トベラ



オニヤブソテツ

海拔100m以下

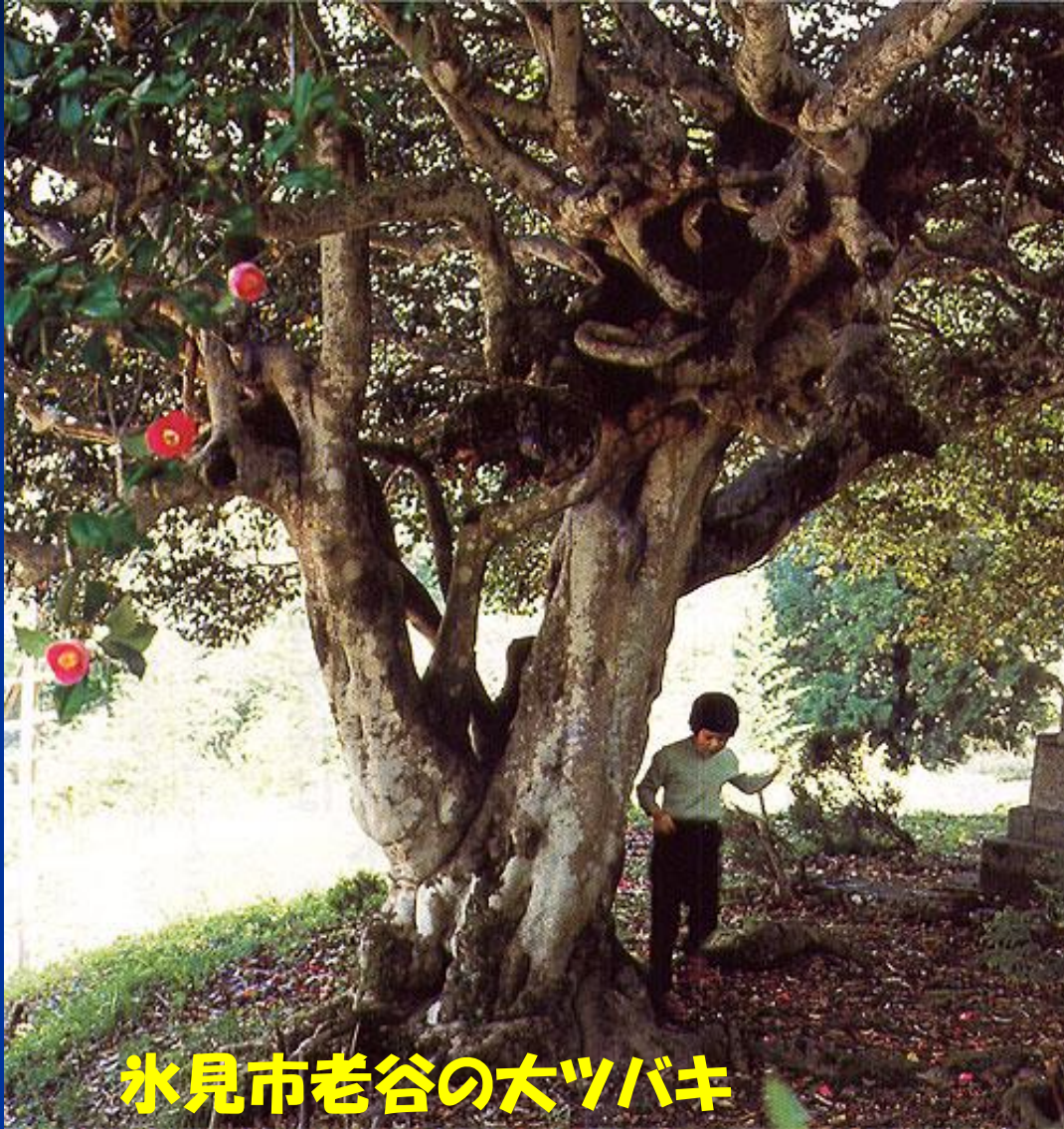
シイ林 (常緑広葉樹林)



朝日町宮崎のスタジイ林



ヤブツバキも 常緑広葉樹



氷見市老谷の大ツバキ



海拔100~300m
コナラ林（里山の植物）



コナラのどんぐり

コナラ林の下に生える千マキザサ

ますのすしを包むササ



コナラ林の下の植物

春いち早く花をつける



トキワイカリソウ



カタクリ



コシノコバイモ

海拔300~1600m フナ・ミズナラ林

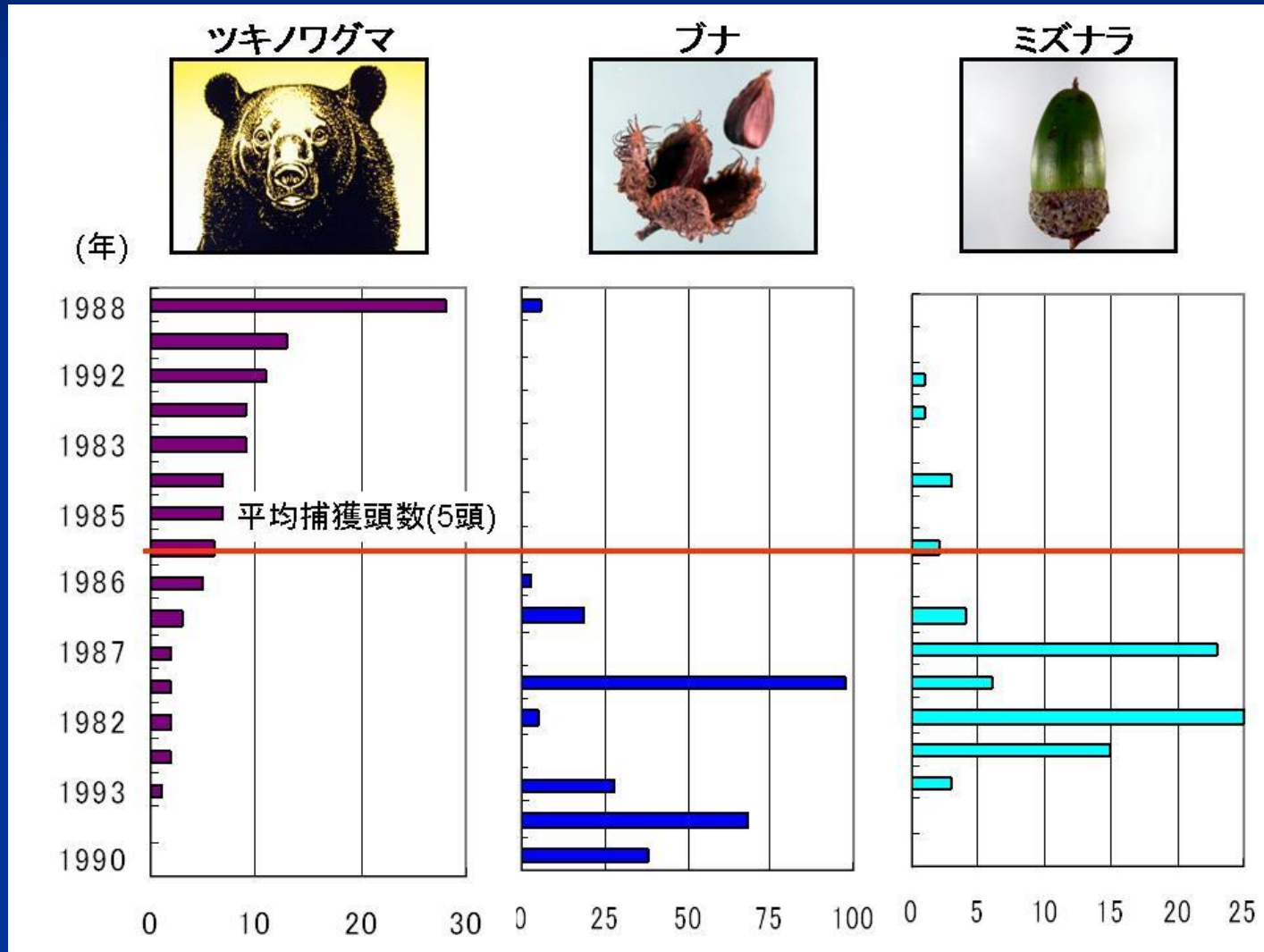


ミズナラ



ミズナラのどんぐい

ツキノワグマが山から下りてつかまる数と ブナ、ミズナラの果実のでき方との関係



フナ・ミスナラ林の下には千シマザサ (別名 ネマガリタケ、ススタケ)



雪に合った生活

日本海側のユキツバキ



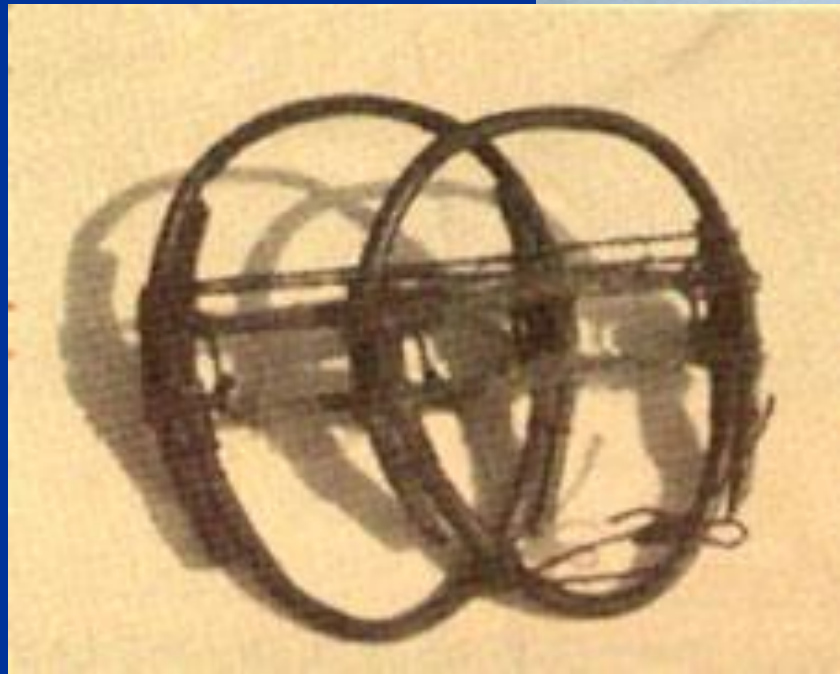
太平洋側のヤブツバキ

日本海側のマルバマンサク



太平洋側のマンサク

マルバマンサクの枝をつかった 「立山かんじき」



海拔300~1600m 亜高山帯針葉樹林



立山美松坂のオオシラビノ林

高山湿原



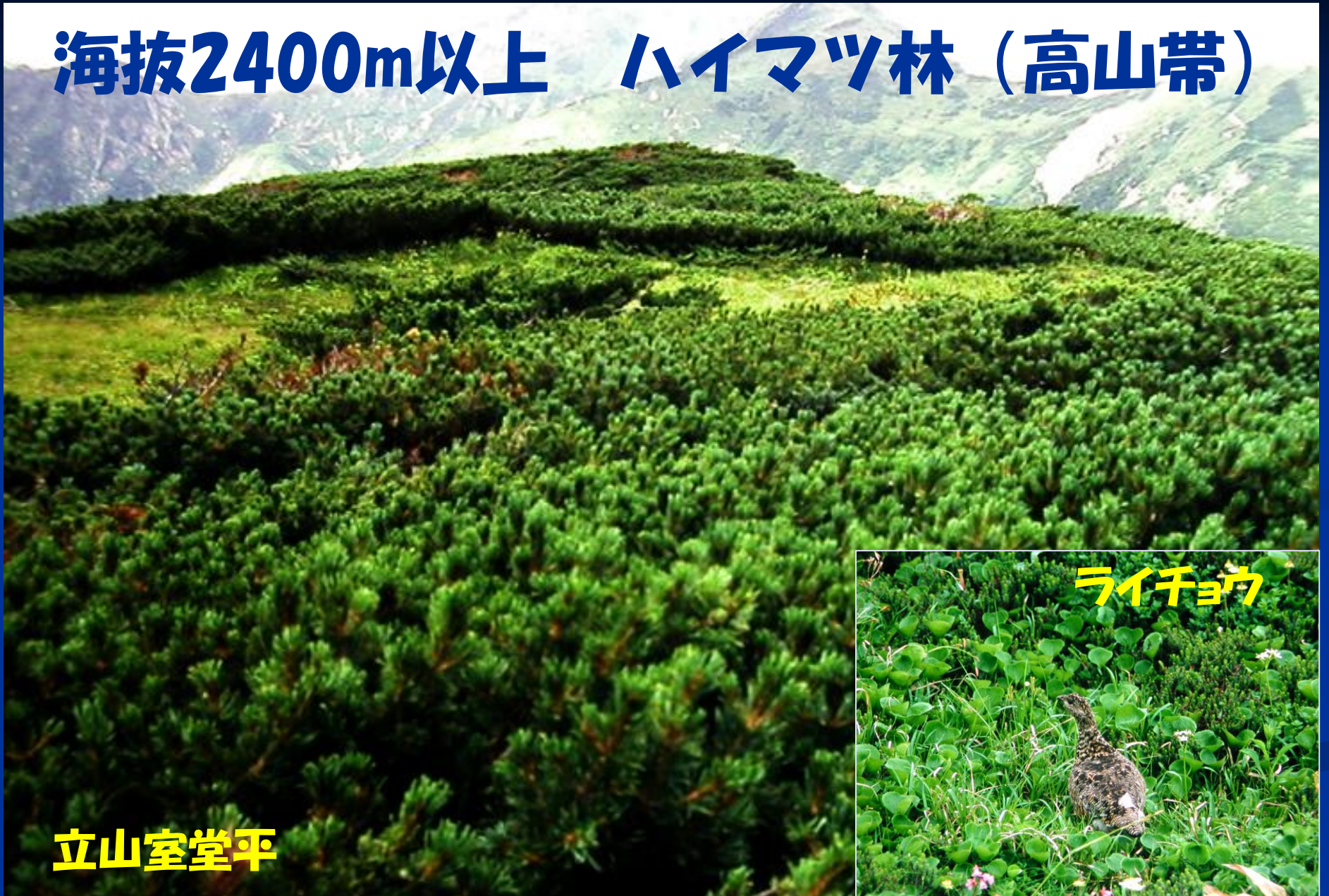
フタスゲ



モウセンゴケ

立山弥陀ヶ原

海拔2400m以上 ハイマツ林 (高山帯)



立山室堂平



ライチョウ

高山植物(湿った場所)



高山植物(風の強い荒地)



コマクサ



タカネスミレ

河川と扇状地の植物



溪谷の植物



センボンギク



サツキ

河原の植物



アキグミ



カワラヨモギ

扇状地の小河川・用水



バイカモ



十ガエミクリ

「タテヤマ」という名前がつく高山植物



タテヤマウツボグサ



タテヤマアザミ



タテヤマリンドウ



タテヤマキンバイ

タテヤマスギ = 県の木



昭和41年、公募で選定 15249票 (次点 ユキツバキ6285票)

ちなみに・・・ 県の花は チューリップ



昭和29年、公募で選定 252票 (次点クロユリ30票)

ちなみに・・・ 富山県の固有植物



エッチュウミセバヤ

帰化植物(外来植物)



ミヤマタンポポ

エソタンポポ



セイヨウタンポポ

富山県のタンポポ

帰化植物(外来植物)



ムシトリナテシコ



セイタカアワダチソウ



ヒメジョオン

帰化水草



富山県の植物目録 (富山県植物誌1983年)

分類群	種類数	科	属	種	変種以下
シダ植物	225	19	54	180	66
種子植物	2220	142	720	1838	694
裸子植物	32	7	15	27	9
被子植物	2188	135	705	1811	685
単子葉植物	631	22	183	540	121
双子葉植物	1557	113	522	1271	560
離弁花類	943	78	309	783	326
合弁花類	614	35	213	488	238
計	2445	161	774	2018	760

その後、200種類以上の植物が富山県新産として記録されている。



日本の植物
ゾーン

24.5 ha

東西約400m

現在地

世界の植物
ゾーン

南北約800m

富山県中央植物園

平成5年10月開園（平成8年4月全面開園）

中央植物園の事業

1. 植物の収集と展示

約5000種類



中央植物園の事業

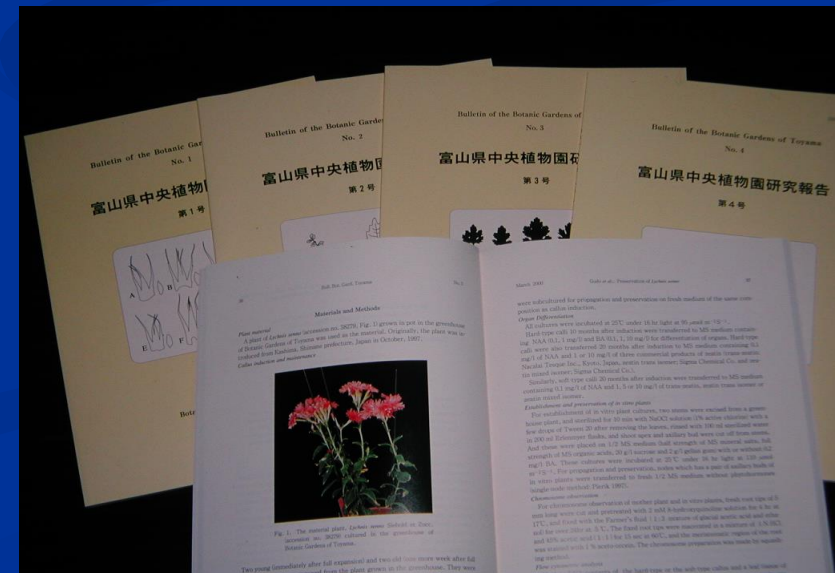
2. 教育普及活動

企画展、講習会、観察会



中央植物園の事業

3. 調査研究活動 富山県の植物の調査など



中央植物園は

1. 収集・展示

2. 教育・普及

3. 調査・研究 の仕事を行う

日本海側初の総合植物園

催しのご案内

中央植物園
植物の保護と植物園
高山園の中央植物園

植物園